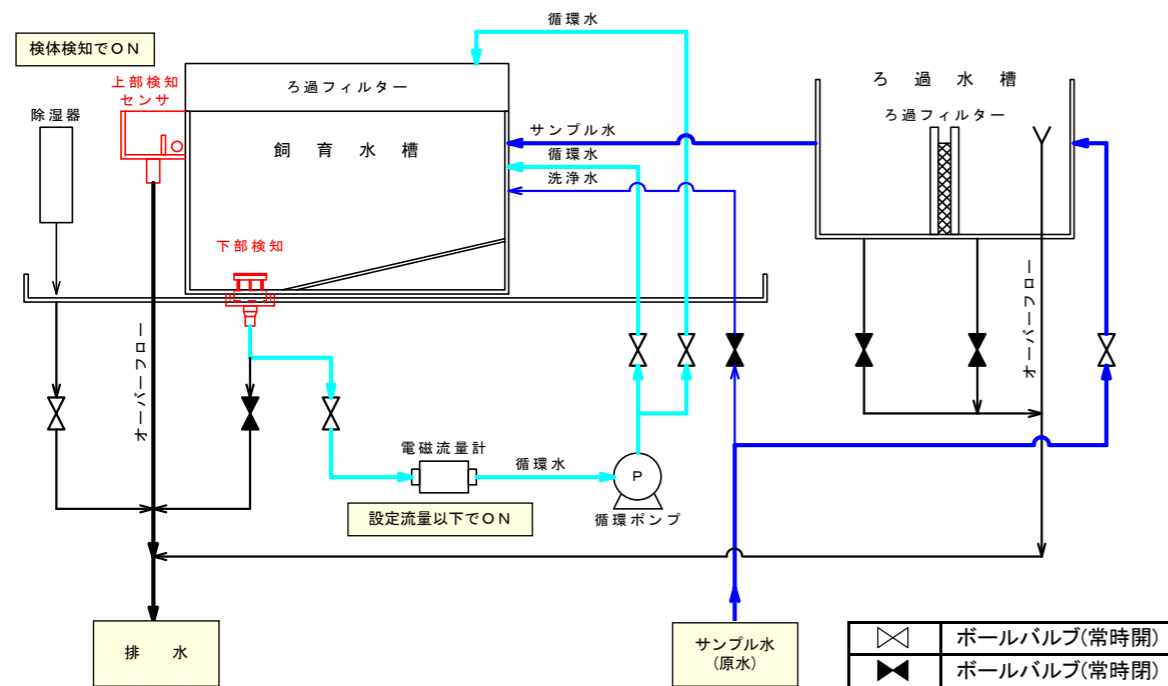


原水魚類監視装置 フロー図

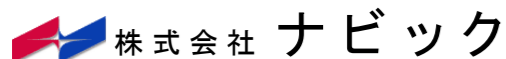


標準仕様

水槽寸法	750mm幅×500mm高さ×450mm奥行	筐体	2100mm幅×1550mm高さ×650mm奥行 材質 SUS304
水槽材質	前面 透明ガラスt5 両側面、背面、底面 透明塩ビt10 枠組 SUS304	塗装	マンセル N6.5 PANTONE Black C ツートンカラー
水槽容積	724mm×377mm×429mm≒117リットル	電源	単相 AC100V 50/60Hz 消費電力 約140W
流入流量	毎分3～5リットル	配管取合	サンプリング水 VP16、排水 VP25 (任意の側面下部)
飼育魚類	ヒブナ 20～30匹程度 魚体サイズ 3～5cm	配管材料	HIVP16、25、ナイロン網入りホース
検知方法	①水面に浮上する魚 エリアセンサにて検知 ②水槽底部に沈む魚 循環水量低下にて検知	排水バット	グレー塩ビt10
		循環ポンプ	MD-15R-N AC100V サーマルプロテクタ付 吐出量 毎分8リットル(最大値)
		標準付属品	水槽用クリーナー、パイプクリーナー、ろ過フィルターマット ネットワークカメラ

※お願い 性能改善の為に、予告なく製品の仕様を変更する場合があります。

製造元



株式会社 ナビック
エンジニアリング事業部
〒950-0064 新潟県新潟市東区松島1丁目4番2号
TEL:(025)271-9550 FAX:(025)271-9551
URL: http://www.navic-n.co.jp/

本社
〒950-8715 新潟県新潟市東区松島1丁目2番8号
TEL:(025)271-9171 FAX:(025)271-2193

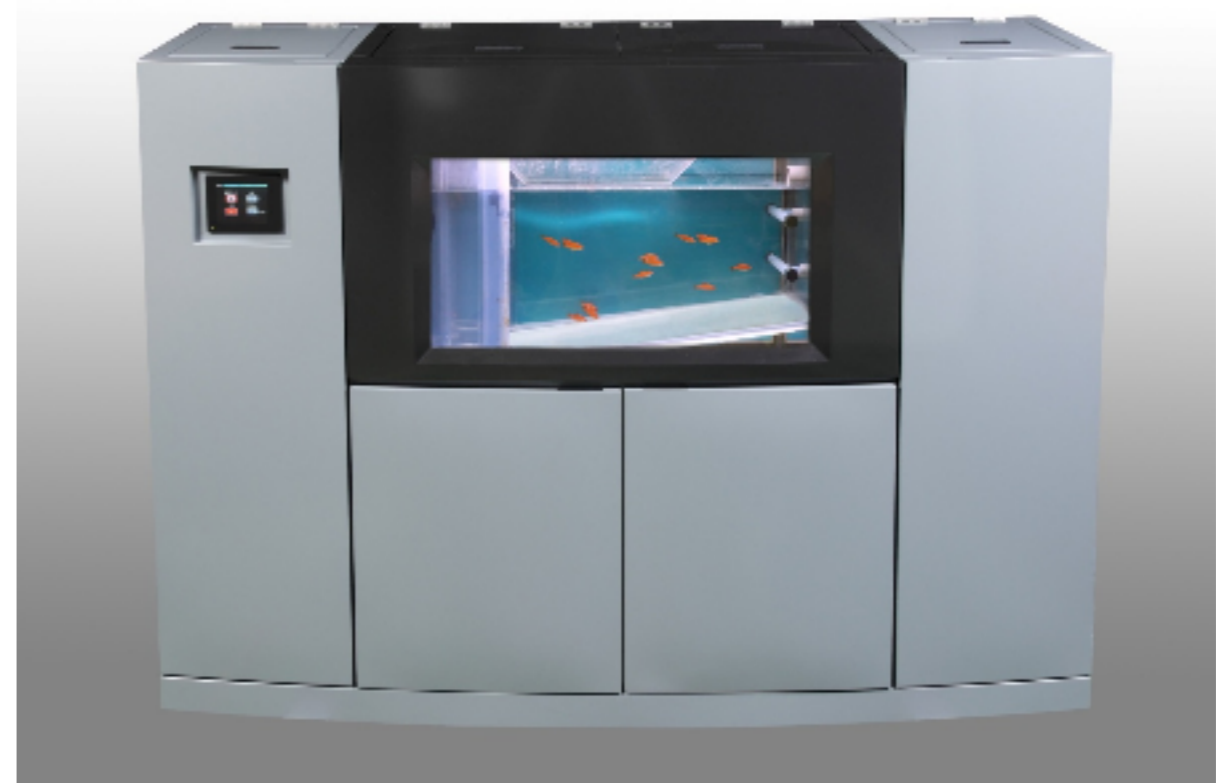
販売元

みずNAVI
原水魚類監視装置

シンプルで安全な“水の番人”として、各地の上水道施設で活躍しております。

特徴

- 原水監視・異常検知の自動化
- ネットワークカメラで遠隔監視
- シンプルな機能と容易なメンテナンス



河川・湖沼などから取水する原水の監視につきましては、魚類による監視方法が一般的です。「みずNAVI」は、原水中の検体魚類を連続・無人監視する事により、原水に有害物質が混入し検体魚類が異常をきたした場合、自動で検知する装置です。



みずNAVI 原水魚類監視装置

シンプルな機能とデザイン

筐体には耐食性に優れたステンレス鋼を採用
水槽の結露防止用除湿器を標準装備

メンテナンスが容易な正面・天井扉付

ろ過フィルター交換や水槽内の清掃が容易に行えるよう、正面と天井に扉を設けました。

水槽が見やすい大きい前面窓

水槽内の様子が一目でわかるように大きな前面窓を設けました。

操作パネル

画面の操作で、水温や循環流量の計測値表示、異常や履歴の表示、各種設定が可能です。



メイン画面

- ・循環ポンプ 運転表示
- ・照明操作
- ・水温表示
- ・循環流量表示

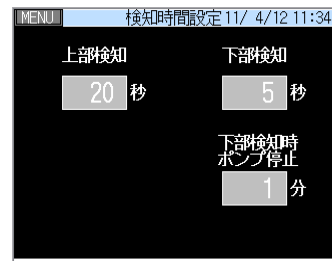
警報履歴表示

異常が発生した時刻と場所を表示します。



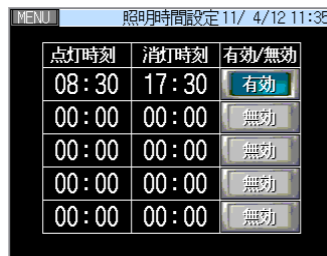
異常検知設定

異常検知確認時間の設定が出来ます。



照明時間設定

照明の時間設定が出来ます。(最大5点)



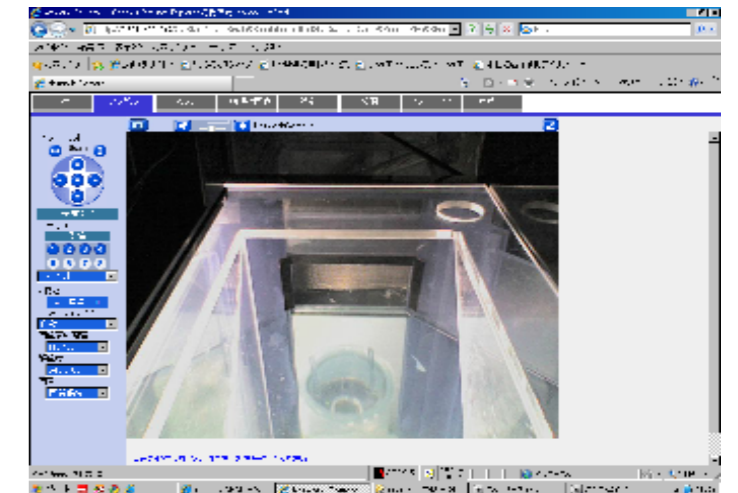
異常検知

上部検知 ... 水槽中の検体魚類が異常状態で浮上した場合、越流口に吸い寄せられエリアセンサで検知します。

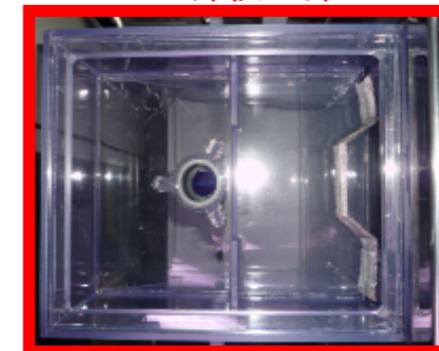
下部検知 ... 水槽中の検体魚類が異常状態で沈下した場合、下部の循環水吸い込み口を塞ぎます。電磁流量計にて循環水の流速を計測しており、吸込み口が塞がった事で流速が低下し設定値以下になった場合、検知します。

遠隔監視

ネットワークカメラをLAN経由でPCと接続する事で離れた場所からでも水槽を監視する事が出来ます。



上部検知部



下部検知部

